

観 光 客 動 向 調 査

① 観客数状況

広島県全体として、令和5年度の総観光客数は 6,037 万人で、前年と比べて 1,129 万人(+23.0%)増加した。

令和 5 年は、全国的な物価高騰の影響があったものの、全国旅行支援の実施や新型コロナウイルスの 5 類移行による行動制限の緩和により観光需要の回復が本格化した。

G7 広島サミットの開催、県内イベントの通常開催、国際線就航便の再開や円安などにより、2 年連続の増加となった。

コロナ前の令和元(平成 31)年と比べると、683 万人(▲10.2%)の減少ではあるが、コロナ前の 9 割まで観光客数が回復している。

呉市においては、令和 5 年度の総観光客数は 309 万人で、前年と比べて 97 万人(+45.8%)増加した。

同じく、呉市でのコロナ前の令和元(平成 31)年と比べると、68 万人(▲17.9%)の減少であり、8 割強まで観光客数が回復している。

区 分	平成31年度	令和4年度	令和 5 年度	コロナ前比	前年比
				R5/H31	R5/R4
広島県	6,720 万人	4,908万人	6,037万人	▲10.2%	+23.0%
呉 市	377万人	212万人	309 万人	▲17.9%	+45.8%

② 観光消費額の状況

広島県全体として、令和 5 年度に、観光客が本件において交通費、宿泊料、土産代、飲食代、入場料などに消費した観光消費額の総額は 4,726 億円で、前年に比べて 904 億円(+23.6%)増加した。また、観光消費額の総額を総観光客数で除した 1 人当たりの観光消費額は 7,829 円で、前年に比べて 40 円(+0.5%)増加した。

前年から継続する物価高による飲食代、土産代等が高騰している中、旅行自粛が続いたことの反動による旅行消費意欲の高まりや、遠方からの観光客数や宿泊客数が増加したことなどに伴い、観光消費額の総額及び観光消費額単価とも過去最高となった。

呉市においては、令和5年度の観光客が交通費、宿泊料、土産代、飲食代、入場料などに消費した観光消費額の総額は 152 億円で、前年に比べて38億円(+33.3%)増加した。しかし、呉市での観光消費額の総額を総観光客数で除した1人当たりの観光消費額は 4,940 円で、前年に比べて 451 円(▲8.4%)減少した。

区 分		令和4年度	令和 5 年度	前 年 比	
観光消 費額	広島県	3,822億円	4,726億円	+904 億円	+23.6%
	呉 市	114億円	152億円	+38億円	+33.3%
一人当 り	広島県	7,789 円	7,829 円	+40円	+0.5%
	呉 市	5,391円	4,940 円	▲451円	▲8.4%